

基本情報

科目名	環境衛生学
時間割コード	0529302401
ナンバリングコード	H23043-L-01
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	星野 輝彦
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯・口）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
星野 輝彦

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境因子と人との相互関係に関する知識について学ぶ。 生活環境の安全の確保と健康の維持・増進の重要性を認識できるようになる。
履修上の注意事項	出欠は出席カードを用います。出席カードの裏に講義の質問や感想を書くこと。次回講義の際回答します。
評価方法	試験90%、レポート10% レポートは採点し学生に返却する。
テキスト	各講義の際に資料を配布する。
参考文献	「新しい環境科学」鈴木孝弘（駿河台出版社 2016年）
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	薬剤師として学校環境衛生管理に関与している経験から、環境保全のための目的及びモニタリング手技を解説する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	該当なし。

授業計画

授業計画
スライドや動画を利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境衛生学概論：環境衛生の歴史	環境と人類の共存 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
2	環境因子と人体：環境物質の体内動態と毒性、安全の基準	体内動態と毒性発現 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	

授業計画

スライドや動画を利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	環境化学：生態系と物質動態	生態系の構造と環境の中の物質の動態 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
4	地球環境の化学：オゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨	地球温暖化 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
5	環境因子と健康：化学的因子（重金属、農薬、工業薬品など）の健康への影響	化学物質の健康被害 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
6	環境因子と健康：化学的因子（環境ホルモンなど）の健康への影響	環境ホルモン 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
7	環境因子と健康：生物学的因子（病原微生物など）の健康への影響	病原微生物の健康被害 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	

授業計画

スライドや動画を利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	環境因子と健康：物理的因子（放射線など）の健康への影響	放射線の健康被害 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
9	環境因子と健康：物理的因子（温熱、圧力、騒音など）健康への影響	温度、気圧、騒音などによる健康被害 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
10	大気環境と健康：大気汚染の状況と対策	大気汚染の健康被害 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
11	水環境と健康：水に由来する健康被害、水質汚濁状況と対策	水による健康被害 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	
12	食品環境と健康：食品汚染と食中毒	食品汚染による健康被害 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（2時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（2時間）	

授業計画

スライドや動画を利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	生活環境と健康：室内の汚染物質	室内の汚染物質 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（２時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（２時間）	
14	生活環境と健康：廃棄物の分類と処理方法	廃棄物の分類 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（２時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（２時間）	
15	環境影響評価と対策：環境アセスメント	環境アセスメント 事前学習：プリントを事前に熟読し、わからない用語について下調べしておくこと。（２時間） 事後学習：講義中に記したメモを整理すること。重要な事項は、他者に説明できるようになること。興味ある事項についてさらに知識を深め、今後の対応などについて考察すること。（２時間）	

基本情報

科目名	公衆衛生学
時間割コード	0529302301
ナンバリングコード	H23041-L-02
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳永 淳也
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯・口）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
徳永 淳也

詳細情報

授業の目的・到達目標	人の健康は個人の保健行動だけでなく、生活環境や経済・社会的環境など、多様で複雑な諸要因から影響を絶えず受けている。医療では、当事者である対象を患者と呼ぶが、生活者として社会の中で毎日を生きている人に他ならない。すなわち、「社会」という文脈で多様な立場にある人の健康問題を考える態度を養うことが、ケアに関わろうとする人には不可欠となる。本科目では、社会環境の中で、個人としてだけでなく集団として人の健康を捉えることの意義と方法を、具体的な公衆衛生活動の各展開場面において紹介し考察する。個人のおかれた環境や考え方の違いによる多様な健康像を社会的視点からとらえ思考する態度と、具体的な公衆衛生的接近に関する手法と考え方を理解できるようになることが目的である。
履修上の注意事項	各講義では確認課題を毎時間課すので欠席しないように努めること。健康問題に対する人や社会の考え方、歴史的変遷における論点を整理・理解することが大切である。日頃から健康問題とその解決法について社会という枠組みから考える習慣を身につけること。講義で取り扱う領域を教科書等により予・復習するように勤めること。(240分)
評価方法	定期試験により100%評価する。適宜、課題には解説を加える。
テキスト	シンプル衛生公衆衛生学2025 辻 一郎、小山 洋編集、南江堂
参考文献	新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度2 公衆衛生学（第4版）メジカルフレンド社、2016年 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度2 公衆衛生（第14版）医学書院、2024年 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学（第3版）医歯薬出版、2023年
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	該当なし

授業計画

授業計画
講義中に配布する資料プリントを中心に、各回の事前事後学修方針に沿って学修し、多様な健康問題の解決のために公衆衛生学が培ってきた理論と方法を学び、対象に対しての「公衆衛生的接近」の本質的意味について考察を深めるよう学修する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	公衆衛生学総論：公衆衛生的接近とは何か	第1章衛生学・公衆衛生学序論を読み、健康の定義について考えておくこと（事前学修時間：2時間） 健康問題の変遷と公衆衛生活動の基本について修得する（事後学修2時間）	
2	環境と人間：環境保健概論	第6章環境保健を読み、環境保健の捉え方について考えておくこと（事前学修時間：2時間） 生態系や環境問題の諸相について整理・修得する（事後学修2時間）	

授業計画

講義中に配布する資料プリントを中心に、各回の事前事後学修方針に沿って学修し、多様な健康問題の解決のために公衆衛生学が培ってきた理論と方法を学び、対象に対しての「公衆衛生学的接近」の本質の意味について考察を深めるよう学修する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	環境保健を捉える諸相とは何か	第6章環境保健を読み、物理的・化学的・生物学的環境要因について考えておくこと（事前学修時間：2時間） 各環境要因の影響と把握方法について整理・修得する（事後学修2時間）	
4	環境保健の評価と管理の理解	第6章環境保健を読み、公害と環境問題について考えておくこと（事前学修時間：2時間） 環境管理の方法と国際的取り組みについて整理・修得する（事後学修2時間）	
5	保健統計概論：測定指標と現状の理解	第2章保健統計を読み、人口の変遷について国別、地域別の特徴を学修しておくこと（事前学修時間：2時間） 健康測定指標の種類と特徴について修得すること（事後学修2時間）	
6	疫学概論：疫学の歴史的理解と研究デザインの理解	第3章疫学を読み、疫学について概略と歴史的取り組みを理解しておくこと（事前学修、2時間） 疫学研究に関するデザインの種類と特徴について整理・修得すること（事後学修2時間）	
7	感染症：疾病予防と健康管理	第4章疾病予防と健康管理、第5章主な疾病の予防を読み、疾病予防の段階と予防医学の変遷、感染症予防の予防対策などについて概要を理解しておくこと（事前学修2時間） 疾病予防の段階と感染症法、各種疾病に応じた予防方法の概要について修得する（事後学修2時間）	
8	地域保健と保健行政の概観	第7章地域保健と保健行政を読み、地域保健活動の概要について学修しておくこと（事前学修2時間） 地域保健の歴史と活動の進め方、保健所の役割・機能について述べられるよう学修する（事後学修2時間）	
9	保健医療福祉の制度と法規：医療従事者における社会的、制度的環境の理解	第14章保健医療福祉の制度と法規を読み、保健医療福祉行政の概要について理解しておくこと（事前学修2時間） 医療制度、医療保障年金の仕組みについて学修する（事後学修2時間）	
10	母子保健に関する取り組みの歴史的変遷および現状と課題の理解	第8章母子保健を読み、母子保健の概要と課題について理解しておくこと（事前学修2時間） 母子保健法および母子保健の各種水準について理解し母子保健課題に対する取り組みを学修する（事後学修2時間）	
11	学校保健：子どもの健康状況を把握し学校保健の構成領域とその役割の理解	第9章学校保健を読み、子どもの健康状況の概要について理解しておくこと（事前学修2時間） 学校保健安全法、学校保健の領域と構成、保健管理と保健教育について学修しておくこと（事後学修2時間）	
12	産業保健：労働者の多様かつ特異的な健康問題の理解	第10章産業保健を読み、労働者の健康問題史について理解しておくこと（事前学修2時間） 労働安全衛生法、労働衛生の三管理と職域での各種健康診断の概要について学修すること（事後学修2時間）	

授業計画

講義中に配布する資料プリントを中心に、各回の事前事後学修方針に沿って学修し、多様な健康問題の解決のために公衆衛生学が培ってきた理論と方法を学び、対象に対しての「公衆衛生学的接近」の本質的意味について考察を深めるよう学修する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	高齢者の保健・医療・福祉：高齢化の現状を理解し施策内容を関連づけて説明できる	第11章高齢者の保健医療介護を読み、高齢者の健康状態と医療・保健の概要について理解しておくこと（事前学修2時間） 後期高齢者医療制度、介護保険制度の仕組みについて学修しておくこと（事後学修2時間）	
14	精神保健：精神保健における歴史的取り組みを理解し精神保健福祉活動を理解する	第12章精神保健を読み、精神障害の捉え方の変遷、精神障害の現状と分類について理解しておくこと（事前学修2時間） 精神保健福祉活動に関する法令、制度ならびに精神科医療の現状について学修しておくこと（事後学修2時間）	
15	国際保健：健康問題のグローバル化とその組織的対応策を理解する	第13章国際保健医療を読み、グローバルヘルスの現状国際機関の機能について理解しておくこと（事前学修2時間） 国際協力の種類とSDGs等の国際社会における健康と福祉の推進に関わる鍵概念を理解すること（事後学修2時間）	

基本情報

科目名	学校保健
時間割コード	0529301801
ナンバリングコード	H23043-L-01
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	松崎 美枝
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯・口）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
松崎 美枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目の履修を通して、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を養う。 児童生徒の発育・発達、健康、そして学校教育法につながる指導要領等の教育の基礎を把握するとともに、児童生徒の実態から保健教育・保健管理・組織活動の諸活動を考える。これら学校保健活動の計画と組織を教育計画と学校組織との関連でとらえ、教育の中の学校保健の全貌を述べることができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前120分)。授業の復習を行うこと(事後120分) 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。
評価方法	定期試験70% レポート等30%により評価する
テキスト	学校保健ハンドブック 第8次改訂 教員養成系大学保健協議会編 ぎょうせい
参考文献	・新訂版学校保健実務必携（第5次改訂版） 第一法規
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	養護教諭や指導主事等の経験から、実態に応じた学校保健活動が展開できる基礎力が身に付くよう、具体的な事例を交えた授業を展開する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニングとして適宜ディスカッションを行う。

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分） 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	学校保健概論・・学校保健と関連法、学校保健の目的、学校保健の構造	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
2	学校保健概論・・学校保健の歴史	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	学校保健組織活動・・学校保健関係者と各々の職務、学校保健組織と運営、関連組織	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
4	学校保健計画・・学校教育目標との関連、保健室経営との関連	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
5	学校保健の対象・・児童生徒の発育発達 の現状と課題	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
6	学校保健の対象・・心の健康問題、精神保健現状と課題（不登校、保健室登校、いじめ、自殺、精神疾患等）	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
7	学校保健活動・・保健管理：健康診断、保健調査	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
8	学校保健活動・・保健管理：健康観察、健康相談	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
9	学校保健活動・・保健管理：疾病の管理	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
10	学校保健活動・・保健管理：感染症予防	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
11	学校保健活動・・保健管理：学校環境衛生	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
12	学校保健活動・・安全管理：学校安全と危機管理、救急処置	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	学校保健活動・・・保健教育：保健教育の考え方、学習指導要領に基づく保健の指導	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
14	学校保健活動・・・保健教育：薬物乱用防止教育、性教育	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	
15	学校保健活動・・・保健教育：食育、がん教育	事前（120分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（120分）当該授業に関する内容の復習を行う	

基本情報

科目名	救急処置法
時間割コード	0529301901
ナンバリングコード	H23043-L-01
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	松崎 美枝
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯・口）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
松崎 美枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命にかかわる緊急を要するような重大事故時に処置に対する、正しい判断ができる。 学校現場での事故を予測し正しい知識と技術を身に着け児童生徒に対して応急処置ができる。 心肺蘇生法ができる。 救急処置対応計画を作成することができる。 基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を養う。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(120分)。授業の復習を行うこと(120分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。 日本赤十字社による講習を行うが、資格取得のためのテスト(筆記・実技)を実施
評価方法	定期試験70%、レポート等30%として評価する。
テキスト	・初心者のためのフィジカルアセスメントー救急保健管理と保健指導ー 東山書房 ・赤十字救急法教本、赤十字基礎講習教本(講習時に購入)
参考文献	
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	養護教諭の経験を生かし、緊急を要する事故等に適切に対処できる実践力が身に付くような授業を展開する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	グループワークによる演習・発表を行う。

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(120分)。授業の復習を行うこと(120分) 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。 日本赤十字社による講習を受講し、赤十字ベーシックライフサポーターの資格を取得する。 講習料(資料代)必要

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション/救急処置の基本的知識	事前(120分)本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後(120分)当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
2	学校救急処置について/学校における救急体制	事前(120分)本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後(120分)当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

日本赤十字社による講習を受講し、赤十字ベーシックライフサポーターの資格を取得する。 講習料（資料代）必要

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	緊急時の救命処置（C P R理論）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
4	緊急時の救命処置（C P R理論）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
5	緊急時の救命処置（A E D理論） 日本赤十字社講習	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
6	緊急時の救命処置（C P R実技1） 日本赤十字社講習	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
7	緊急時の救命処置（C P R実技2） 日本赤十字社講習	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
8	外傷時の救急処置（フィジカルアセスメント）：傷の種類とその処置	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
9	外傷時の救急処置（フィジカルアセスメント）：頭部外傷、眼部外傷	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
10	外傷時の救急処置（フィジカルアセスメント）：歯・口腔の外傷、熱傷等	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
11	外傷時の救急処置（フィジカルアセスメント）：骨折、捻挫、脱臼、打撲等	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
12	外傷時の救急処置（R I C E処置・止血・包帯法等）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

日本赤十字社による講習を受講し、赤十字ベーシックライフサポーターの資格を取得する。 講習料（資料代）必要

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	内科的疾患の救急処置（フィジカルアセスメント）：発熱、けいれん、頭痛等	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
14	内科的疾患の救急処置（フィジカルアセスメント）：喘息、呼吸困難等の対応	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
15	内科的疾患の救急処置（フィジカルアセスメント）：腹痛、下痢等の対応	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	

基本情報

科目名	養護概説
時間割コード	0529900101
ナンバリングコード	H29019-L
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	松崎 美枝
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
松崎 美枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目の履修を通して、「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追究し自己研鑽に努める態度と能力を養う。 養護教諭の職務である保健管理、保健教育、健康相談及び保健指導、保健室経営、保健組織活動の5機能を理論的に理解し、具体的な職務内容と方法論で実証し、学校運営の中で、そして学校保健の各領域で養護教諭の職務がどう機能化するかを述べるができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について確認しておく。(事前120分)。授業後は復習を行うこと(事後120分)。 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。
評価方法	定期試験70%，提出物・レポート等30%として評価
テキスト	新養護概説（第13版） 少年写真新聞社
参考文献	・児童生徒等の健康診断マニュアル平成27年度改訂 文部科学省監修：公益財団法人日本学校保健会 ・学校保健の課題とその対応令和2年度改訂 公益財団法人日本学校保健会 ・新訂版学校保健実務必携（第5次改訂版） 第一法規
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	養護教諭や指導主事等の経験から、養護教諭の職務の理解と実践力が身に付くよう、具体的な事例を取り上げながら授業を展開する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	グループワークによる演習、発表を行う。

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について教科書等で確認しておく(事前120分)。授業の復習を行うこと(事後120分) 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。 グループワークによる演習や発表を行う。また、保健室経営計画や保健だより等を実際に作成して提出する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	養護の概念、養護教諭の歴史	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
2	養護教諭の職務内容と法的根拠	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について教科書等で確認しておく(事前120分)。授業の復習を行うこと(事後120分) 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

グループワークによる演習や発表を行う。また、保健室経営計画や保健だより等を実際に作成して提出する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	子供の健康課題と養護教諭の役割	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
4	養護活動の実際 1 保健管理：救急処置	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
5	養護活動の実際 2 保健管理：救急処置	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
6	養護活動の実際 3 保健管理：疾病の管理（アレルギー疾患等）	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
7	養護活動の実際 4 保健管理：疾病の予防（感染症等）	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
8	養護活動の実際 5 保健管理：健康診断	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
9	養護活動の実際 6 保健管理：健康診断	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
10	養護活動の実際 7 保健管理：健康観察、健康相談及び保健指導	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
11	養護活動の実際 8 保健管理：学校環境衛生	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
12	養護活動の実際 9 保健室経営 （保健室経営計画の作成、評価）	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
13	養護活動の実際10 保健教育（指導案の作成）	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
14	保健組織活11 保健教育（保健だよりの作成）	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
15	養護活動の実際12 保健組織活動	（事前120分）本時の授業内容を教科書等で確認しておく。（事後120分）授業後は復習を行って理解を深めること。	

基本情報

科目名	健康相談論
時間割コード	0529301701
ナンバリングコード	H23043-L-01
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	松崎 美枝
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯・口）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
松崎 美枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の心の健康問題が深刻化し、保健室でも心身両面の対応が養護教諭の重要な職務として位置づけられていることを理解する。また養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした相談活動としての「健康相談」について理論と方法について学習し、具体的に子どもの状態のとらえ方と対応について述べることができる。 本科目の履修を通して、他職種と連携、協力しながら対象者の個性を尊重した支援ができる能力を養う。
履修上の注意事項	授業の最後に課題を提示するので、その内容についてテキスト及び他の文献を用いて調べておくこと。（120分）授業の復習を行うこと。（事後120分） 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。
評価方法	定期試験70%、レポート等30%として評価する。
テキスト	教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引（令和3年度改訂版）公益財団法人日本学校保健会 WebからPDFデータのダウンロードが可能です。印刷し、講義に持参してください。
参考文献	・新改訂学校保健実務必携（第5次改訂版） 第一法規 ・養護教諭の行う健康相談（新版） 東山書房
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	養護教諭や指導主事等の経験から、養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした健康相談等の理論や方法の理解、また実践力が身に付くよう、具体的な事例を取り上げながら授業を展開する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	グループワークによる演習、発表を行う。

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分） 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	児童生徒の心身の健康問題の現状と背景 / 健康相談の歴史	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	学校における健康相談の基本的な理解（重要性と法的根拠）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
3	発達段階別心身の健康問題の特徴と理解	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
4	発達段階別心身の健康問題の特徴と理解	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
5	学校における健康相談の基本的なプロセス（進め方）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
6	学校における健康相談の基本的なプロセス（進め方）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
7	初期の対応に必要なアセスメント知識と技術（演習含む）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
8	保健室における心理的アセスメントの内容（演習含む）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	養護教諭に必要なカウンセリングの知識と技法（演習含む）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
10	健康相談における支援体制づくりと連携－学内外との連携－	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
11	諸問題の捉え方とかかわり方，事例検討の目的（事例検討会等）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
12	事例検討（１）（けがの多い子供への対応，疾病を持つ子供への対応 他）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。 事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
13	事例検討（２）（諸場面での具体的対応－応急手当，複数来室 他）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
14	事例検討（３）（保健室登校・不登校への対応）	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（120分）。授業の復習を行うこと（120分）
 毎回、レポートや課題確認問題などで学修達成度を確認する。同時に、授業の振り返りと質問等を書かせるが、前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	健康相談の記録，研究・研修	事前（120分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（120分）当該授業に関する内容について復習し，さらに調べ授業後の理解を深める。	

基本情報

科目名	口腔保健指導論
時間割コード	0529304201
ナンバリングコード	H23081-L-02
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	中山 真理
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯科保健）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
松崎 美枝、中山 真理

詳細情報

授業の目的・到達目標	人々の健康を向上させる、あるいは将来の健康危機への耐性を強化するには、人が生まれてから成長・発達し、成熟期を迎え、やがて機能を縮小させていく過程を理解することが必要です。さらには、人々の考えや意識、習慣や行動に働きかける力も必要です。本科目は、行動変容の理論やコミュニケーションスキルを用いて、ライフステージに対応した歯科衛生士がおこなう健康援助を考案できることが目的です。
履修上の注意事項	一時点での健康課題への援助ではなく、ライフコースを考慮した援助になることを意識して学習していきましょう。
評価方法	発表内容を50%、レポート内容を50%として評価します。提出物にはコメントをして返却します。
テキスト	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 2024年第1版第2刷（口腔疾患予防学実習（う蝕予防）と同じ教本です）。
参考文献	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ 歯・口の健康と予防に関わる人間と社会のしくみ1 保健生態学 医歯薬出版 2024年第1版第2刷 文献も適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	松崎美枝：養護教諭として公立学校ならびに国の教育行政機関勤務 中山真理：歯科衛生士として地域歯科診療所勤務 自らの臨床経験を源として、行動変容理論に基づく対象者支援についての学習機会を提供する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	適宜指示します。

授業計画

授業計画
人々の健康を向上させる、あるいは将来の健康危機への耐性を強化するには、人が生まれてから成長・発達し、成熟期を迎え、やがて機能を縮小させていく過程を理解することが必要です。さらには、人々の考えや意識、習慣や行動に働きかける力も必要です。本授業では、ライフステージに対応した歯科衛生士がおこなう健康援助を行動変容の理論やコミュニケーションスキルを用いて考えていきます。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	歯科医療におけるコミュニケーションの必要性（中山）	社会・経済状況、文化が人に及ぼす影響についての情報を検索し、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください（2時間）	教科書に加えて、新聞や専門誌、学術誌を読む習慣をつけていきましょう。
2	行動変容による口腔疾病の予防（中山）	行動科学による健康支援の理論が書かれた文章を検索し、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください（2時間）。	
3	第1,2講をふまえて、口腔保健からの妊産婦・褥婦への健康支援を考える1（中山）	妊娠による身体・こころの変化について書かれた文章を検索し、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください（2時間）。	自分の母子手帳に目を通しておいてください。

授業計画

人々の健康を向上させる、あるいは将来の健康危機への耐性を強化するには、人が生まれてから成長・発達し、成熟期を迎え、やがて機能を縮小させていく過程を理解することが必要です。さらには、人々の考えや意識、習慣や行動に働きかける力も必要です。本授業では、ライフステージに対応した歯科衛生士がおこなう健康援助を行動変容の理論やコミュニケーションスキルを用いて考えていきます。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	口腔保健から妊産婦・褥婦への健康支援を考える2(中山)	妊娠中、産後に起こりやすい口腔内の変化についての情報を検索し、読んでおいてください(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	2024年版母子手帳に目を通しておいてください。
5	口腔保健から乳幼児期子どもへの健康支援を考える1（中山）	乳幼児期のこどもの成長・発達について書かれた文章を検索し、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください(2時間)。	自分の母子手帳、2024年版母子手帳を熟読しておいてください。
6	口腔保健から乳幼児期子どもへの健康支援を考える(中山)	乳幼児期こどもの歯と口の育成についての情報を検索し、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください(2時間)。	自分の母子手帳、2024年版母子手帳を熟読しておいてください。
7	学校歯科保健から学童期子どもへの健康支援を考える（松崎）	学童期こどもの健康課題について書かれた文章を検索し、読んでおいてください(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	「生きる力」を育む学校での歯・口の健康づくり 令和元年改訂版（日本学校保健会）に目を通しておいてください。
8	口腔保健から学童期・思春期子どもへの健康支援を考える1（中山）	思春期にみられるこどもの変化について書かれた文章を事前に配布します、読んでおいてください(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
9	口腔保健から成人前期青年への健康支援を考える1 情報を分類、整理、統合する(中山)	成人前期の生活習慣の特徴が書かれた文章を検索し、読んでおいてください（2時間）、事後は授業で分類、整理した各自の情報を再度吟味し、歯科衛生診断として記します(2時間)。	口腔疾患予防学実習 で得た情報を整理しておいてください。これらの情報を用いて健康課題を導きだしていきます。
10	口腔保健から成人前期青年への健康支援を考える2 健康課題への介入・支援内容を考案する(中山)	健康課題を導きだした歯科衛生過程を見直しておいてください(2時間)、事後は導きだした支援内容を記します(2時間)。	考案した健康課題への介入・支援策をプロセスとともに、次回発表できるようにします。
11	各自が考案した成人期青年への健康支援内容の発表(中山)	歯科衛生過程を用いて考案した支援内容を発表形式に整えてください(2時間)、事後は発表内容のふりかえりレポートを作成してください（2時間）。	他の学生の発表をきいて気づいたことも大切なことです。
12	口腔保健から中年期成人への健康支援を考える 1(中山)	疾病負荷について書かれた文献を渡します、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください。	解剖・生理学・生化学での学習内容を確認して、全身状態と口腔状態のつながりを理解していきましょう。
13	口腔保健から中年期成人への健康支援を考える 2(中山)。	全身と口腔状態の関連を示唆する文献を渡します、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください(2時間)。	
14	口腔保健から老年期成人への健康支援を考える1. 老年期の成人の心身の特徴を知る(中山)	老年期成人の心身の特徴についての情報を検索し、読んでおいてください(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	ライフステージをつなげて人の健康を理解していきましょう。
15	口腔保健から老年期成人への健康支援を考える1. 老年期の成人の全身と口腔との関連を知る(中山)	老年期成人の全身状態と口腔状態との関連について書かれた文章を検索し、読んでおいてください（2時間）、事後はよく確認してください(2時間)。	

基本情報

科目名	生活栄養学
時間割コード	0529201301
ナンバリングコード	H12001-L-11
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村上 香
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
村上 香

詳細情報

授業の目的・到達目標	食べ物と健康という観点から、基礎栄養学、食物の消化・吸収、栄養素の特徴や役割、臨床栄養学の面から疾病と栄養の関連について理解し、自らが幅広い視野と知識を身につけ実践する事、特に食事や栄養に関する情報量が急増している中、自身や人々の健康の維持増進に努めてもらう事が出来る。 また、医療従事者として、様々な身体的状況にある人々に接する際に、自身が学んだ食・栄養面の知識を、効果的に行う技法や体験を活かし、サポートすることで自らも健康的な食生活が実践出来るようになる。
履修上の注意事項	「生化学」「解剖生理学」の内容を理解しておくこと。
評価方法	毎回の小テスト50%、期末試験50% 解答とフィードバックコメントを送信する。
テキスト	最新 歯科衛生教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝（医歯薬出版） 生化学の教科書
参考文献	わかりやすい栄養学（三共出版） 基礎栄養学（第一出版） 日本人の食事摂取基準（2025年版） 日本食品標準成分表（八訂）増補2023年
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	病院栄養士の経験をもつ管理栄養士を特別講師として招き、栄養管理におけるチームアプローチについて、看護師、社会福祉士、理化学療法士等との連携経験をもとにそれぞれの役割について講義していただく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニング：質問法を活用してこれまでの学びの定着度の確認、さらに、関連性を明示する。 ICTを取り入れた講義：事前・事後学習用の授業資料をCampus Squareにアップロードする。毎回MS Formsを用いて理解度を確認しながら授業を展開する。MS Formsのフィードバックにより、事後学習のための振り返り事項を明示する。

授業計画

授業計画
事前学習（90分）：教科書を読んで、意味の分からない単語を調べて自分なりに理解しておく。 解剖生理学・生化学の教科書等、高校家庭科の教科書・資料等の該当箇所を確認して理解を深めておく。 講義（90分）：小テストによる振り返りと理解度の確認。 アクティブラーニング手法としては質問法を行うので、積極的に参加する。 事後学習（150分）：小テストに備えて講義の振り返りを行う。 第2回目講義からは受験した小テストのフィードバックコメントを参考に振り返りを行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス / 食生活と栄養	事前学習：p116-119, 203-209（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
2	食事摂取基準	事前学習：p128-139（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
3	食物と栄養	事前学習：（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	

授業計画

事前学習（90分）：教科書を読んで、意味の分からない単語を調べて自分なりに理解しておく。

解剖生理学・生化学の教科書等、高校家庭科の教科書・資料等の該当箇所を確認して理解を深めておく。

講義（90分）：小テストによる振り返りと理解度の確認。

アクティブラーニング手法としては質問法を行うので、積極的に参加する。

事後学習（150分）：小テストに備えて講義の振り返りを行う。

第2回目講義からは受験した小テストのフィードバックコメントを参考に振り返りを行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	糖質の消化・吸収・代謝	事前学習：p140-150、120-127（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
5	タンパク質の消化・吸収・代謝	事前学習：p150-152、120-127（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
6	脂質の消化・吸収・代謝	事前学習：p152-157、120-127（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
7	ビタミン	事前学習：p157-162（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
8	ミネラル・水	事前学習：p162-175（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
9	食生活と健康	事前学習：p178-183、152-162（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
10	ライフステージと栄養（乳時期～青年期）	事前学習：p195-196（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
11	ライフステージと栄養（成人期・妊娠期・授乳期）	事前学習：p197-198（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
12	ライフステージと栄養（更年期・高齢期）	事前学習：p199-202（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
13	栄養評価・栄養教育	事前学習：p128-139（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
14	栄養管理におけるチームアプローチ	事前学習：歯科衛生士等口腔保健分野の栄養管理におけるチームアプローチについて図書館等で調べる。 事後学習：全講義の振り返り	実務経験のある教員による授業
15	まとめ（小テストの振り返り）	事前学習：毎回の小テストを見直す 事後学習：すべての講義を振り返る	

基本情報

科目名	食生活指導
時間割コード	0529304301
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	火 3
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	中山 真理
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯科保健）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
中山 真理

詳細情報

授業の目的・到達目標	栄養・食事・食生活と健康との関係については、がん、循環器疾患、糖尿病など特定の疾病や肥満、血圧、血糖値、腎機能などの値との関連を示すエビデンスが蓄積されています。まずはこれらのエビデンスを知り、主要な疾患の予防や重症化を予防する観点から、関連学会・機関が提言している食事・食生活を理解していきましょう。しかし、子どもの成長・発達そして健康寿命の延伸のためには、特定の疾患に偏ることなく疾患を横断する取り組みと、ライフステージごとに異なった対応が必要です。本科目はこれらを理解して、歯科衛生士ができ得る将来の健康危機への耐性を強化する食生活の援助を考案できることを目的とします。
履修上の注意事項	すでに履修している生化学、生活栄養学での学習内容をふりかえっておいてください。これらの科目で学習した内容と本科目で知り得たことをつなげて理解していきましょう。
評価方法	評価は、課題の作製・発表(40%)、レポート(40%)、授業時のディスカッションの参加(20%)でおこないます。提出物にはコメントをして返却します。
テキスト	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝 医歯薬出版 2024年第1版第2刷（既に購入済み）
参考文献	食品成分表 2024 八訂 栄養計算ソフト・電子版付き 医歯薬出版 2024年第4版第1刷
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験のある教員による授業の有無 有 中山真理：歯科衛生士として地域歯科診療所勤務 人々が様々な環境、社会状況に生活していることを理解したうえで、歯科衛生士ができ得る食生活の援助を考案する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	適宜指示します。

授業計画

授業計画
栄養・食事・食生活と健康との関係については、がん、循環器疾患、糖尿病など特定の疾病や肥満、血圧、血糖値、腎機能などの値との関連を示すエビデンスが蓄積されています。まずはこれらのエビデンスを知り、主要な疾患の予防や重症化を予防する観点から、関連学会・機関が提言している食事・食生活を理解していきましょう。しかし、子どもの成長・発達そして健康寿命の延伸のためには、特定の疾患に偏ることなく疾患を横断する取り組みと、ライフステージごとに異なった対応が必要です。これらのことを理解して、歯科衛生士ができ得る健康を向上させる、あるいは将来の健康危機への耐性を強化する食生活への援助を創造・考案していきます。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1.糖質について（中山）	生活栄養学(1年次後期履修済み)で学習したことを復習し(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
2	2.たんぱく質について(中山)	生活栄養学(1年次後期履修済み)で学習したことを復習し(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
3	3.脂質について（中山）	生活栄養学(1年次後期履修済み)で学習したことを復習し(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	

授業計画

栄養・食事・食生活と健康との関係については、がん、循環器疾患、糖尿病など特定の疾病や肥満、血圧、血糖値、腎機能などの値との関連を示すエビデンスが蓄積されています。まずはこれらのエビデンスを知り、主要な疾患の予防や重症化を予防する観点から、関連学会・機関が提言している食事・食生活を理解していきましょう。しかし、子どもの成長・発達そして健康寿命の延伸のためには、特定の疾患に偏ることなく疾患を横断する取り組みと、ライフステージごとに異なった対応が必要です。これらのことを理解して、歯科衛生士が得る健康を向上させる、あるいは将来の健康危機への耐性を強化する食生活への援助を創造・考案していきます。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	4. ビタミン・微量元素について（中山）	生活栄養学(1年次後期履修済み)で学習したことを復習し(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)	
5	5. 不健康な食事に伴う疾病負荷を知る（中山）	健康寿命、障害生存年を理解しておいてください(2時間)、事後はよく確認してください。	
6	6. 病態と食生活指導(糖尿病・脂質異常症・痛風・高血圧症・動脈硬化症・腎臓病・骨粗鬆症等)（西川）	事前:5大疾病について予習（2時間） 事後:課題レポート提出（2時間）	
7	7. 地域における栄養・食生活支援を理解する（西川）	事前:地域における栄養活動予習（2時間） 事後:課題レポート提出（2時間）	
8	8. 妊娠期の栄養・食生活援助を知る（中山）	妊娠合併症について調べ(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
9	9. 成育期の栄養・食生活援助を知る（中山）	子どもの食習慣の現状について書かれた文章を検索し、読んでおいてください(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
10	10. 人工甘味料の種類と特徴を知る(中山)	日本で使用されている人工甘味料についての情報を検索し、読んでおいてください。(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
11	11. よく食べている食品、飲料に含まれている人工甘味料を調べ、把握する（中山）	本授業で知り得たことを踏まえて、日常でよく食べている食品・飲料に含まれている人工甘味料を調べてください（2時間）、発表してもらいます。発表後はふりかえりのレポートを作成してください（2時間）。	
12	12. 2型糖尿病のコントロールのための食事を歯科衛生士として理解する（中山）	2型糖尿病と歯周病の関連について書かれた文章を検索し、読んでおいてください(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
13	13. 食事・食品・栄養素の摂取状況とがん罹患リスクとの関連について知る(中山)	がん統計を検索し、最新の状況を知っておきましょう(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
14	14. 高齢期の栄養・食生活援助を知る（中山）	高齢者に起こりやすい栄養問題について書かれた文章を検索し、読んでおいてください(2時間)、事後はよく確認してください(2時間)。	
15	15. 歯科衛生士がおこなう食生活援助を考案する・発表する（中山）	本授業で知り得たことから、歯科衛生士が得る食生活の援助を考案し（2時間）、発表してください。発表後はふりかえりのレポートを作成してください（2時間）。	

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	0529300101
ナンバリングコード	H13011-L-02
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	水 1
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（人体）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
二科 安三

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは消化器系、血液および循環器系、呼吸器系、泌尿器系であり、その周辺（たとえば神経系等）にも注意を払いつつ勉強する。適切な教科書を指定するので、その 7 割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）
評価方法	期末試験（100％）で判定する。 質問のあった内容については講義内で解説し、フィードバックを行う。
テキスト	解剖生理学（人体の構造と機能[1]）、坂井建雄、岡田隆夫,医学書院
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	該当なし。

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	はじめに 解剖学・生理学		
2	栄養の消化と吸収 1 口・咽頭・食道・胃の構造と機能		
3	栄養の消化と吸収 2 小腸・大腸の構造と機能		
4	栄養の消化と吸収 3 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能		
5	呼吸と血液の働き 1 呼吸器の構造と呼吸運動、呼吸と血液の働き		
6	呼吸と血液の働き 2 ガス交換とガスの運搬		
7	呼吸と血液の働き 3 呼吸運動の調節		
8	呼吸と血液の働き 4 血液の組成と機能		
9	血液の循環とその調節 1 心臓の構造、心臓の興奮とその伝播		
10	血液の循環とその調節 2 心臓の収縮、心周期、血液の循環とその調節		
11	血液の循環とその調節 3 血圧・血流量の調節		

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	血液の循環とその調節 4 微小循環、リンパの循環		
13	体液の調節と尿の生成 1 腎臓の構造、糸球体・尿細管。傍糸球体装置		
14	体液の調節と尿の生成 2 糸球体濾過、クリアランス、排尿の機序		
15	体液の調節と尿の生成 3 体液の調節		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	0529300201
ナンバリングコード	H13011-L-02
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（人体）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
二科 安三

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは自律神経系、内分泌系、骨と筋肉、生殖器官系、生体防御免疫系である。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）
評価方法	期末試験(100%)により判定する。 質問のあった内容については講義内で解説し、フィードバックを行う。
テキスト	解剖生理学（人体の構造と機能[1]） 坂井建雄、岡田隆夫 医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	該当なし。

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	神経系の構造と機能 神経系の構造、興奮の伝導と伝達		
2	自律神経による調節		
3	内分泌による調節 1 ホルモンの構造、視床下部、下垂体		
4	内分泌による調節 2 甲状腺、膵臓、副腎、甲状腺・副甲状腺		
5	内分泌による調節 3 ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節		
6	身体の支持と運動 1 骨と筋の構造		
7	身体の支持と運動 2 体幹、上肢、下肢、頭頸部の骨格と筋		
8	身体の支持と運動 3 筋の収縮		
9	情報の受容と処理 1 中枢神経の構造と機能		
10	情報の受容と処理 2 末梢神経の構造と機能		
11	情報の受容と処理 3 脳の高次機能、運動機能、感覚機能		

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	情報の受容と処理 4 特殊感覚の構造と機能		
13	身体機能の防御と適応 1 皮膚の構造と機能、生体の防御機構		
14	身体機能の防御と適応 2 体温とその調節		
15	生殖・発生と老化のしくみ		

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0529300901
ナンバリングコード	H13031-L-02
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（疾病）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明する学問であり、病理学は、疾病の原因、機序などを明らかにする学問である。本科目では、保健・医療分野のニーズへの対応に必要な専門知識を身につける。具体的には、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎的事項を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎知識を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し説明できること、病態生理学の知識を用いて医療分野のニーズに対応できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（2時間程度）。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（2時間程度）。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験（100%）で評価する。 2) 「正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できる」を評価基準とする。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1]「病理学」(第6版) 大橋健一ほか著、医学書院、2021年 2) 教員作成プリント
参考文献	1) なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂、2019年 2) シンプル病理学 改訂第8版、笹野 他編、南江堂、2020年 3) わかりやすい病理学 改訂第7版、恒吉 監修、南江堂、2021年 4) ヒューマンボディ からだがわかる解剖生理学 原著第7版、坂井 他監訳、エルゼビアジャパン、2023年
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	該当なし
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニングとして、教科書の章末問題を活用した事前の課題学習を取り入れ、理解度の向上ならびに専門知識の定着を促す。第15回で行うまとめの中でフィードバックを行う。Campus Squareを資料共有などに活用する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因（内因、外因）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	細胞・組織の損傷と修復，炎症	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	免疫・アレルギー，移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感染症	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	循環障害　：局所性	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	循環障害　：全身性	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	代謝障害　：脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	代謝障害　：糖代謝障害、その他の代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	老化と死	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	先天異常	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	遺伝子の異常と疾患	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	腫瘍　：腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	腫瘍　：腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	腫瘍　：腫瘍の診断と治療	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	生活習慣と環境因子による生体の障害まとめ	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0529200601
ナンバリングコード	H22001-L-01
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、保健・医療分野のニーズへの対応に必要な感染症学および化学療法薬の知識を身に付ける。具体的には、ヒトと共生する常在菌叢の働き、ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し、さらに代表的な感染症について、その感染経路、症状、予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また、生体防御機構、各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに、耐性菌、新興感染症・再興感染症の出現、日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに、がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として、教科書を熟読する。(2時間) 『わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫』(主に第1~6回に使用)、 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』-第2章,3章,4章,15章-(第7~15回に使用) 2) 授業には指定教科書、ノート、プリントを持参する。講義内容を書留め、その日の内に復習する(2時間)。 3) 講義プリントはファイルし、専門用語を正確に覚え、その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は、教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 配点: 第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして、授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫 改訂3版』 藤本 編, 南山堂, 2017年 2) 教員作成プリント 3) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学 (第15版)』 吉岡 他著, 医学書院, 2022年(薬理学でも使用)
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学(第14版)』 南嶋 他著, 医学書院, 2022年 2) 『コンパクト微生物学 改訂第5版』 小熊 他監修, 南江堂, 2021年 3) 『微生物学・感染看護学 -微生物から感染防止を考える- 第2版』 岡田 他編, 医歯薬出版, 2021年 4) 『わかりやすい薬理学 第4版』 安原 他編, ニューヴェルヒロカワ, 2020年 5) 『シンプル薬理学 改訂第6版』 野村 他編, 南江堂, 2020年
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	該当なし
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニングとして、教科書の章末問題を活用した事前の課題学習を取り入れ、理解度の向上ならびに専門知識の定着を促す。第6回および第15回で行うまとめの中で正解例を再確認しながらフィードバックを行う。 ICT活用の取り組みとして、第1~6回の講義資料・まとめ問題をCampus Squareにアップロードし、事後学修にいかす。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	病原微生物の分類と特性（構造、性質、病原性、感染機構）（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	細菌と感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	真菌と感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	ウイルスと感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	寄生虫・原虫と感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	感染症に対する薬物療法（化学療法薬概論）（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	薬物動態（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	感染に対する生体防御機構（免疫系）、予防接種用薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗病原微生物薬の作用機序（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗菌薬（抗生物質）（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗菌薬（合成抗菌薬）、抗結核薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬、抗ウイルス薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬、薬物療法のまとめ（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0529200701
ナンバリングコード	H22001-L-01
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
徳富 芳子、山本 秀幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、口腔保健分野の課題・ニーズへの対応に必要な薬物療法の知識を身につける。 薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の専門知識を用いて論理的思考を展開し、医療分野のニーズに対応できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	1）各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（2時間程度）。 2）講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（2時間程度）。 3）講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。 4）専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1）学期末の本試験（100%：筆記試験）で評価する。 2）「薬物療法の専門知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3）第15回で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1）『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学 第15版』吉岡 他著、医学書院、2022年（感染症学でも使用） 2）教員作成プリント
参考文献	1）『歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版株式会社、2025年 2）『知っておきたい歯科衛生士のためのくすりの知識』デンタルダイヤモンド社、2011年 3）『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編、ヌーヴェルヒロカワ、2020年 4）『シンプル薬理学 改訂第6版』野村 他編、南江堂、2020年 5）『今日の治療薬2025』伊豆津他編、南江堂、2025年 6）『イラストで理解するかみくだき薬理学 改訂3版』町谷 著、南山堂、2023年 7）『くすりのしくみとはたらき要点整理&ドリル』渡辺 監修、宣伝社、2017年
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	徳富：管理薬剤師として調剤薬局に勤務した経験に基づき、薬物の主作用・副作用および服薬指導等の具体的事例を紹介することで、看護実践に必要な思考力・応用力修得の一助となるよう授業を展開する。 山本：医学部において医師・医学博士として医学部学生を対象に、精神神経薬理学の講義と実習を約40年間、同時に生化学一般についての講義と実習を15年間担当した。その後、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師を目指す学生を対象に内科学一般、現代医療の成り立ちと諸問題についての講義を3年間担当してきた。専門は、神経化学、生化学、精神神経薬理学。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニングとして、教科書の章末問題を活用した事前の課題学習を取り入れ、理解度の向上ならびに専門知識の定着を促す。第15回で行うまとめの中で正解例を再確認しながらフィードバックを行う。 Campus Squareを資料共有などに活用する。

授業計画

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論（薬物療法、薬物の作用点）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	薬理学総論（薬物動態、剤形）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	薬理学総論（薬物相互作用）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	薬理学総論（年齢等による薬効変化、薬物療法の有益性・危険性、関係法規）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	末梢神経系作用薬（交感神経系作用薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	末梢神経系作用薬（副交感神経系作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	循環器系作用薬（降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	循環器系作用薬（利尿薬、脂質異常症治療薬、抗凝固薬・血栓溶解薬、貧血治療薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	免疫治療薬（免疫抑制薬、免疫増強薬）、抗アレルギー・抗炎症薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	呼吸器系に作用する薬物（気管支喘息治療薬、鎮咳・去痰薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	消化器系疾患に対する薬物（消化性潰瘍治療薬、他）、泌尿器系疾患に対する薬物（排尿障害治療薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ薬・気分安定薬）（山本）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	中枢神経系作用薬（パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬、片頭痛治療薬）（山本）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	代謝・内分泌系に作用する薬物（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	う蝕予防薬、歯内療法薬、歯周疾患治療薬、顎・口腔粘膜疾患と薬、全体のまとめ（徳富）	配布プリントの予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	精神保健
時間割コード	0529301601
ナンバリングコード	H23043-L-01
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（歯・口）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
竹中 健、水間 宗幸、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。 2 精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	予習復習が必要。特に次回に触れる内容について、少なくとも事前にテキストを一読すること。復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。予習120分、復習120分を目安とする。
評価方法	試験による評価（100％）。なお希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	最新 精神保健福祉士養成講座2「現代の精神保健の課題と支援」（2021） 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	水間宗幸：2011年12月より、非常勤心理士として精神科病院で発達障害を持つ子どもとその家族を対象に発達相談を行っている（現在に至る）。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	講義内容および必要資料を、適宜Canvas Squareにアップロードする。 必要に応じて適宜グループワークを実施する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	精神保健の概要（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
2	精神保健の歴史と現代における意義・課題（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
3	社会構造の変化と新しい健康観（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
4	ライフサイクルと精神の健康（出生前～思春期）（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	ライフサイクルと精神の健康（青年期～老年期）（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
6	ストレスと精神の健康（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	生活習慣と精神の健康（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	精神の健康、精神疾患、身体疾患に由来する障害（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	発達障害と精神保健（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	うつ病と自殺防止対策（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	現代社会を取り巻く諸相と精神保健（長寿・認知症・少子化を巡って）（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	精神の健康に関する心的態度（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	精神保健に関する予防の概念と対象（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	精神保健に関する国、都道府県、市町村、団体などの役割と連携（担当：平川）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	精神保健に関する専門職種（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	0529201101
ナンバリングコード	H12002-L-11
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 1, 金 2
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	選択必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護観を迫するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習（各2時間）について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、その学習を生かして授業ではグループワーク、意見交換をする（アクティブラーニング）。事後課題では授業での学習を生かしてレポートを作成する。講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。教科書の精読、レポート作成に要する時間は60分である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、授業内で事前学習の課題について学習内容を確認する機会を設けている。
テキスト	『初学者のための看護学講義－学習の基礎を固め、健康な生活を助けよう－』赤峰隆元・古江佳織・上妻尚子・柴田恵子、幻冬舎、2021。
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古堅、古江、赤峰は病院、施設等において看護師としての実務経験者、柴田は学校における養護教諭の実務経験者である。 実務経験を活かした教育内容：看護師としての経験内容は具体的であり、講義での学びを看護ケア実践でどのように活かすのかについて教授する。また看護ケアの実践場面は病院、施設だけではなく多様な場面で実践されているため学校あるいは日常生活における看護ケアについて教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を授業で確認する反転授業を取り入れている。グループワークでは課題について意見を交換するというディスカッションを経験し、協力して課題を達成し他者の意見から学びを深めるといった発見学習につなげている。授業内では学生の発表の機会を設けており、リフレクションすることで自己の課題を再確認するという問題解決学習を実施している。 ○ICT教育としては、事前・事後課題用の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは（柴田）	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	国民の健康状態（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護・看護サービス提供の場（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	小テスト1、ナイチンゲールについて（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。事後学習はナイチンゲールについて学習したことをまとめる。	
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職の養成制度の課題（赤峰）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は養成制度の特徴を確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護倫理からの学びを基に自己の課題を明らかにする。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護の定義をまとめる。	
13	小テスト2、看護の理論家について学習（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習は医療職者の専門性について調べる。事後学習は専門性を高めるための自己の課題を明らかにする。	

基本情報

科目名	看護学各論
時間割コード	0529900201
ナンバリングコード	H29019-L
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	月 2, 月 3
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目はディプロマポリシー1、3に該当する専門的知識・技術の獲得、地域の中での課題を発見・分析・解決を図る学習とし、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、心身機能における課題を探究し養護教諭として問題を解決できる能力を養う。生活者に発生する疾患や症状の理解を深め、看護の視点や方法について学習することを目的とする。 また、養護教諭の職務の一領域である学校看護に必要な看護学を学ぶ。学校看護は、児童・生徒の生命を守り、健康の維持・増進を図ることを目的とし、また重要な教育活動である意義を理解する。心身のメカニズム、疾病・異常など、臨床看護実習にも必要な知識・技術を習得するとともに、これらを学校看護の教育としての独自性の中にいかすことを学ぶ。
履修上の注意事項	事前学習として、それぞれの単元で扱う項目に関する事柄を、テキストから拾い上げておき、講義に臨むこと。 事後学習では、講義終了後にノートをまとめなおし、関連する疾患や状態像と合わせて理解を深めること。 (事前事後学習で各2時間程度) 講義ではグループ討議を実施することもある。その場合は積極的に取り組むこと。
評価方法	課題の提出等 20% 筆記試験(小テスト含む) 80% 提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	養護教諭のための看護学 四訂版 藤井寿美子他 大修館書店 四訂版第2刷 2021年9月1日
参考文献	講義中に適宜知らせる
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	吉岡久美：大学病院(看護師)、一般病院(看護師長)、訪問看護ステーション(訪問看護師・管理者)
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニング及びICTを活用した授業として、指示した時間にはタブレットやスマートフォンを持参すること。検索および資料の獲得、リアルタイムで質問を受ける双方向の授業も行う

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護の基礎と看護行為の基本、疾病の経過や治療処置に伴う看護の理解を深める	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各120分)	
2	循環器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各120分)	
3	呼吸器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	消化器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
5	造血器系疾患、内分泌疾患・代謝系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
6	泌尿器・生殖器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
7	運動器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
8	脳神経系疾患、精神系疾患の発生機序とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
9	感覚器系疾患に関する病態とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
10	救命救急看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
11	発熱・腹痛・頭痛・嘔気嘔吐・呼吸困難・けいれんなどの症状別看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
12	小児看護と母性看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
13	思春期看護、障害のある方への看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
14	老年、精神看護を理解する（在宅を含む）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	
15	ターミナルケアからグリーフケアまでの重要性を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各120分）	

基本情報

科目名	基礎看護技術
時間割コード	0529900301
ナンバリングコード	H29019-S
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 3, 他 4
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
古城 玲子、吉岡 久美、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、心身機能における課題を探究し養護教諭として問題を解決できる能力を養う。社会福祉に関わる様々な課題を、地域の中で他職種の人々と連携・協力しつつ、児童・生徒の課題解決に向けて取り組もうとする力を養うことを目指す。学際的他領域の知見を理解して取り組める力を養う。 養護教諭に必要な看護技術の基礎知識を習得することを目的としている。 1．健康の回復、維持増進を図るための看護技術を実践できる。 2．看護の基礎技術を学習し習得することで、援助過程での活用の意義を説明することができる。
履修上の注意事項	・演習は動きやすい服装（ジャージ等）と靴を準備すること ・準備物等は掲示板にて連絡するため、確認しておくこと ・講義および演習の構成上、展開計画の流れが変更となることがあるが、事前に掲示するため注意し、十分に事前学習をしてレポート作成すること ・事後学習では、関連する疾病や状態像と合わせて理解を深め、課題に取り組むこと。（事前事後各120分）
評価方法	筆記試験 70% 学習への取り組み、課題の提出 30% 提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	基礎看護技術 松尾ミヨ子他：編 （メディカ出版） 2022年8月第1版第2刷
参考文献	講義中に適宜紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護部長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者） 古城玲子：看護師経験
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニング及びICTを活用した授業として、指示した時間にはタブレットやスマートフォンを持参すること。検索および資料の獲得、リアルタイムで質問を受ける双方向の授業も行う

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	病床環境調整の必要性とその方法について学習し実践する。（吉岡）	事前学習として、テキストを基に病院及び病床環境についてまとめること。病床の援助としてベッドメイキングの方法を確認しておく。 事後学習として、患者の状態に応じた環境の調整について整理する。	
2	生命の兆候を観察する技術を知り、バイタルサインの示す意味と測定方法を習得する。（吉岡）	事前学習として、バイタルサインとは何か、そのチェックにおける方法と留意点をまとめる。 事後学習として、実際の測定における困難と工夫、確実な実践方法を整理する。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	安全を守る技術を習得し、安楽な体位を理解して移動等の支援の実践方法を習得する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
4	運動と休息の影響を理解し、体位、運動の援助方法を習得する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
5	栄養管理を含めた食事の重要性を理解し、形態、摂取方法について理解する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
6	排泄の意義・目的を理解し、その管理方法と援助について実践する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
7	身体の清潔の目的を理解して、衣服管理・交換方法を含めた援助を実践する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
8	身体の清潔の目的を理解して、身体保清の具体的方法を習得する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
9	電法の適応を理解して実践し、安楽かつ快適さを確保する技術を習得する。（未定）	事前学習として、電法の目的、種類、留意点を整理する。 事後学習として、電法の効果と危険性について整理する。	
10	検査・治療を安全かつ正確に行う技術を理解し、対象者の理解と看護の役割を知る。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
11	感染の具体的予防としての管理方法、清潔操作、創傷管理等を実践する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
12	与薬についての知識を深め、薬剤の管理と投与方法を理解する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
13	安楽な呼吸のための吸引、吸入の目的と種類を理解し、手技と管理方法を習得する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
14	救急救命処置の技術を理解し、緊急時の判断ができる能力を習得する。（未定）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと	
15	危篤・終末時の心理・生理的变化を踏まえて死を迎える時の援助を習得する。（吉岡）	事前学習として、終末期における身体・精神的变化をテキストから学習する。 事後学習として、死を迎える本人と周りの人への処置・対応をまとめる。	

基本情報

科目名	臨床看護実習
時間割コード	0529900401
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	松崎 美枝
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
古城 玲子、吉岡 久美、松崎 美枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	基礎から積み上げた体系的な教養を身につけて、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探究し問題を解決できる能力を、実習及び関連する指導を通して養う。 看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術をもとに病院臨床の場でさらに観察し、実際に行ってみるにより看護の理解を深める。 学校保健活動及び養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解し説明できる。
履修上の注意事項	・実習事前指導に出席すること ・事前学習として、これまで学んだ解剖生理、病態、医学一般、看護学各論、基礎看護技術、薬理学等を中心に 復習しておくこと ・事後学習では、報告会での他実習先での学びを振り返り、体験できなかった技術や対応について、その方法・留意点をまとめること（事前事後120分）
評価方法	実習成績（90％）・実習病院等の評価 実習態度、看護実習レポート、カンファレンスへの参加や学内実習態度（発表）の積極性（10％） レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	実習要項、実習資料
参考文献	基礎看護技術 メディカ出版
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者） 松崎美枝：公立学校養護教諭経験 古城玲子：看護師経験
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	グループワーク、ロールプレイングなどの演習を行う。

授業計画

授業計画
目的：看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術をもとに病院臨床の場でさらに観察し、実際に行ってみるにより看護の理解を深める。 学校保健活動及び養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解し説明できる。 8日間の臨床実習及び2日間の学内実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること （事前事後学習を合わせて90分を目安とする）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			